

学校だより

よく考え
よく考える子

励まし合って
励まし合う子

やりぬく子
やりぬく子



TEL : 69-2029 FAX : 69-4448 HP-URL : <http://www.tanpopo.ne.jp/~ohyabu/index.htm>

ふるさと輪之内 ふるさと大藪

1月8日、輪之内町の成人式では、ご来賓の挨拶の中で「本年度、113名の方が、めでたく成人となりました。」と、数字の「一の位」まで正確に紹介されました。振り袖の女性も、スーツ姿の男性も、ちょっと目立ちすぎかなと思える髪型（色）の男性も、一人一人が存在を認められている証拠です。

人口の多い都市では「何千何百人以上の成人が・・・。」と、一の位も十の位も省略されていましたが、輪之内町では一人一人がたいせつにされています。だからこそ、輪之内町の成人式は一人一人が自覚を持ち、静粛で明るい成人式が行われたのだと思います。近年話題になっているような「騒動」は起きるわけがありません。

このように、輪之内町は素晴らしいふるさとです。そして、わたしたちの大藪地区も、一人一人がたいせつにされている素晴らしい地域です。

大藪小学校の子どもたちは、プログラム委員を中心に、「あいさつ」を奨励する取り組みを続けていますが、「〇年生はあいさつができる。」とか「〇〇地区の子はあいさつができない。」というような「全体をまとめた評価」はしません。左の写真のように、



全校朝会で「あいさつ名人」を紹介するプログラム委員

個人名をあげて紹介しています。

同じように、地域の見守り隊の方々も、「〇〇さんは、笑顔であいさつができる。」 「〇〇さんは、あいさつの声大きい」 「～の時にはあいさつができるけど、～の時にはできない。」というように、「一人一人」や「場面」ごとに、細かい評価をしてくださっています。

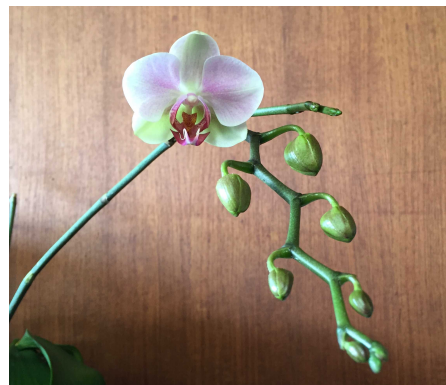
「大藪小学校の子はあいさつができない。」という全体的な評価をしてしまうのは「偏見」につながる人権問題ですが、そのような評価が聞かれないのは、大藪校区の人権感覚レベルの高さを表しています。ありがとうございます。

大藪小学校の児童は、地域からたいせつにされながら育っています。きっと地域を愛する大人に成長し、恩返しをしていくと思います。

たいせつにすると・・・

私ごとですが、4月に胡蝶蘭をいただきました。私にとって初めてのことでしたので、インターネットの情報を見ながら、たいせつに育ててきました。

年末に花芽が出始め、校長室に温かい日差しが入った2月14日、見事に咲き始めました。



※ おわび 学校だよりの前号、前々号の「号数」が間違っておりました。正しくは、1月10日付が「第9号」、1月31日付が「第10号」です。